

(1)事業の概要等

事業番号	B0201
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	交通安全推進事業					担当部			市民生活部													
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降		担当課			市民安全課														
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	2	展開方向	1	担当係			交通防犯係													
	予算区分	一般会計	款	2	項	7	目	2	大	3	中	1											
	根拠法令・個別計画	小牧市交通安全及び防犯の推進に関する条例、小牧市交通安全の推進に関する要綱、小牧市交通安全及び防犯関係団体事業費補助金交付要綱、小牧市自転車乗車用ヘルメット購入費補助金交付要綱					事業種別			一般事業													
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	安全・安心なまちづくりの実現に向け、交通安全の推進を図り、市民の交通安全意識を高めることで交通事故を未然に防ぐことを目的とする。																					
	対象 (何・誰を対象に)	・市民、市内企業、市内高校の生徒 (自転車乗車用ヘルメット購入費補助金は住民登録のある市民のみ)																					
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>【令和4年度実施内容】</p> <p>●幼児、児童、生徒及び高齢者を対象とした交通安全教室の実施、年4回の交通安全運動の実施等により、交通安全に対する意識の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 25回開催(3,171人参加) 各季交通安全運動キャンペーン開催 <ul style="list-style-type: none"> 春の全国交通安全運動(R4.4.6～R4.4.15)4/6南スポーツセンター 夏の交通安全県民運動(R4.7.11～R4.7.20)7/11あさひホール 秋の全国交通安全運動(R4.9.20～R4.9.30)9/21南スポーツセンター 年末の交通安全県民運動(R4.12.1～R4.12.10)12/1市民会館 ●自転車乗車時のヘルメットの着用を促進し、交通事故被害軽減を図るため、購入費の1/2(上限2,000円)を補助。 <ul style="list-style-type: none"> 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金:1,255件 ●交通安全活動事業に対する補助金 <ul style="list-style-type: none"> 愛知県交通安全協会小牧支部補助金 学区交通安全推進協議会補助金 <p>1校10万円を上限とし、令和4年度は15校から申請。</p> <p>○直接経費(令和4年度)</p> <table border="0"> <tr> <td>消耗品費(ストップマーク、啓発品、看板等購入費)</td> <td>2,561千円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金</td> <td>2,400千円</td> </tr> <tr> <td> 愛知県交通安全協会小牧支部補助金</td> <td>2,400千円</td> </tr> <tr> <td> 学区交通安全推進協議会補助金</td> <td>1,450千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>228千円</td> </tr> </table>											消耗品費(ストップマーク、啓発品、看板等購入費)	2,561千円	補助金		自転車乗車用ヘルメット購入費補助金	2,400千円	愛知県交通安全協会小牧支部補助金	2,400千円	学区交通安全推進協議会補助金	1,450千円	その他
消耗品費(ストップマーク、啓発品、看板等購入費)	2,561千円																						
補助金																							
自転車乗車用ヘルメット購入費補助金	2,400千円																						
愛知県交通安全協会小牧支部補助金	2,400千円																						
学区交通安全推進協議会補助金	1,450千円																						
その他	228千円																						
受益者負担	無																						

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
事業費	直接経費	決算額	財源					
			一般財源	千円	6,847	7,832	8,819	8,323
			国・県支出金	千円	—	1,437	1,056	716
		その他	千円					
		計(A)	千円	6,847	9,269	9,875	9,039	
	対前年比	%	—	135.3%	106.5%	91.5%		
	予算額	千円	7,631	23,179	9,533	9,459	9,459	
人件費	正規職員	人	1.50	1.50	1.50	1.50		
	正規職員(平均賃金)	千円	11,229	11,229	11,229	11,229		
	その他職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
	その他職員(時給×時間)	千円	1,889	1,889	1,889	1,889		
	計(B)	千円	13,118	13,118	13,118	13,118		
事業費合計(C=A+B)		千円	19,965	22,387	22,993	22,157		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	2	展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1	人身事故認知件数	人	↘	758	508	504	541	
2								
3								

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
成果指標	ヘルメット購入費補助金の申請件数	件	目標	—	—	—	—	
			実績	—	—	1,082	1,255	
成果指標	人身事故件数	件	目標	—	—	—	—	
			実績	659	508	504	541	
活動指標	交通安全教室への参加者数	人	目標	2,980	2,980	2,980	2,980	
			実績	2,976	1,136	2,309	3,171	
活動指標	交通安全対策事業への高齢者の参加者数	人	目標	—	339	339	339	
			実績	—	93	140	251	
単位事業あたり	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの		
事業の評価	事業の達成状況と課題	小牧市の人身事故発生件数は平成30年以降減少してきていたが、令和4年は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染対策による制限がなくなり、人の移動は多くなると見込まれ、交通事故発生頻度が増えていくことが懸念される。小牧警察署と協力してさらなる交通安全意識を高めるための取り組みが必要である。また、市民意識調査では、自転車乗車時にヘルメットを着用している18歳以上の市民の割合が低率であるため、一層の周知啓発に取り組む必要がある。道路交通法の改正により、令和5年4月から全国で自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化となったことに伴い、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の申請件数は増加している。ヘルメット着用についての意識が向上していると思込まれる。		
	今後の実施内容	コロナ禍により開催することが難しかった交通安全教室や啓発活動を活発に行い、引き続きヘルメットの重要性を周知していく。また、交通事故の加害者にも被害者にもならないように、子どもから高齢者まで交通ルールや交通マナーを知ってもらい、運転者には思いやり、譲り合いの気持ちを持っていただき、小牧市の人身事故件数を減らしていく。		
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節